

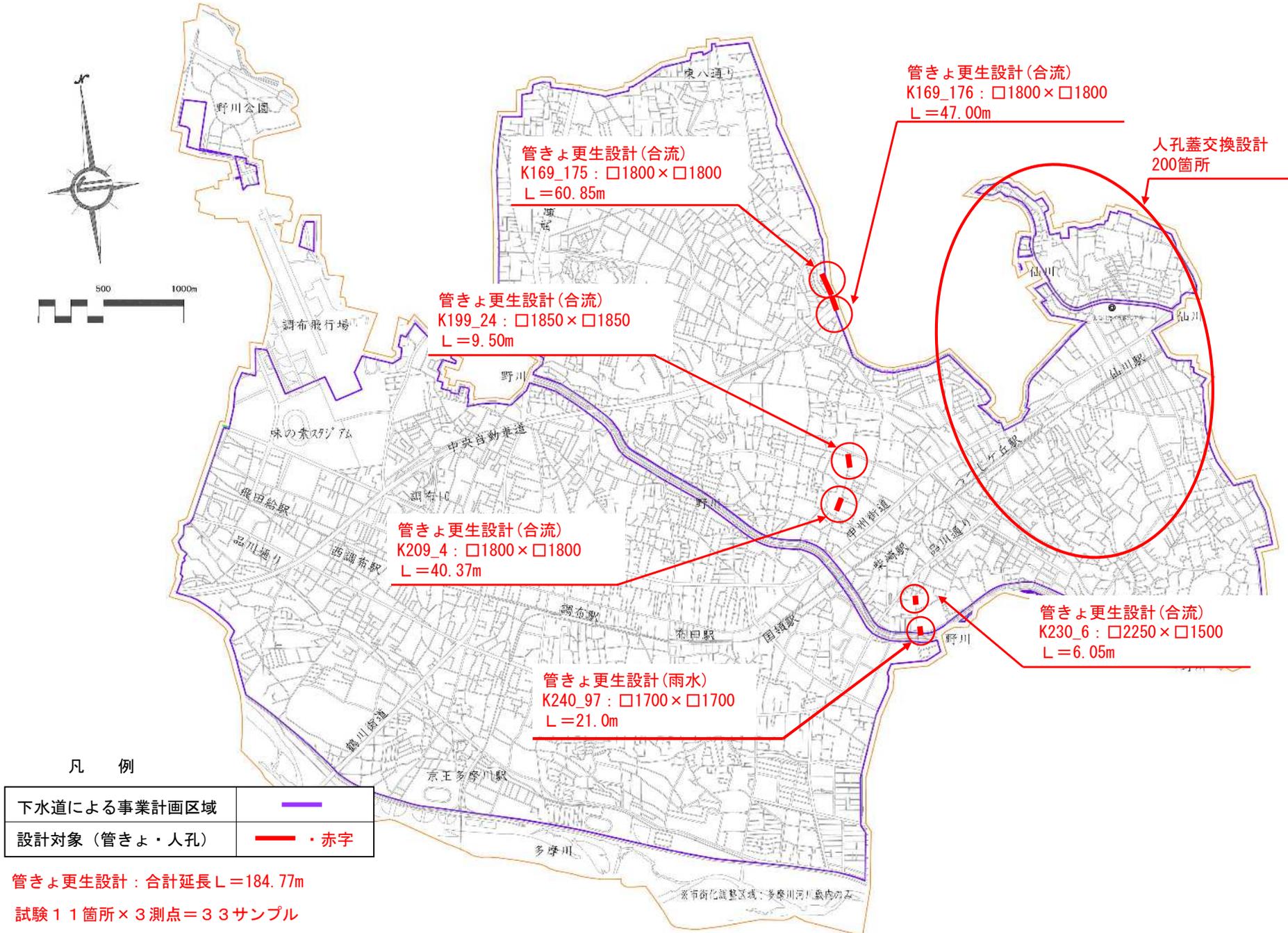
令和7年度
下水道ストックマネジメント実施設計委託
(第1期ー5)

調布市 環境部 下水道課

委 託 設 計 書

委託番号		作成部課	調布市環境部下水道課	
作成月日	令和7年4月1日	路線名等		
委託件名	令和7年度下水道ストックマネジメント実施設計委託(第1期-5)		施工方法	委託
委託箇所	市内各所		工 期	令和8年1月30日 まで
施工理由	<p>本委託は、調布市下水道ストックマネジメント実施計画に基づき実施するものであり、老朽化した管渠や人孔蓋の改築工事を着手するために必要な図書を作成するためです。</p>			
設計概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施設計(管更生工法) <ol style="list-style-type: none"> ① K169_176: □1800mm × 1800mm × L=47.00m ② K169_175: □1800mm × 1800mm × L=60.85m ③ K199_24: □1850mm × 1850mm × L=9.50m ④ K209_4: □1800mm × 1800mm × L=40.37m ⑤ K230_6: □2250mm × 1500mm × L=6.05m ⑥ K240_97: □1700mm × 2700mm × L=21.00m 2. マンホール蓋替設計 (200箇所) 3. 各種試験(中性化, 鉄筋腐食, 圧縮強度) 4. 設計協議(中間3回) 			

令和7年度下水道ストックマネジメント実施設計委託（第1 - 5期）



令和7年度下水道ストックマネジメント実施設計委託（第1期－5）

特記仕様書

第1章 総則

1.1 業務の目的

本業務は、「ストックマネジメント実施計画」に基づく管渠および人孔蓋に関する実施設計を行い、工事着手に必要な図書を作成することを目的とする。

1.2 仕様書の適用範囲

本業務は、本仕様書に従い施工しなければならない。

1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受託者の負担とする。

1.4 法令等の遵守

受託者は、業務の実施にあたり、関連する法令等を遵守しなければならない。

1.5 中立性の保持

受託者は、常にコンサルタントとして中立性を保持するよう努めなければならない。

1.6 秘密の保持

受託者は、業務執行上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。また貸与資料については委託期間満了時に受託者の責任において完全に破棄しなければならない。

1.7 公益確保の義務

受託者は、業務実施にあたって公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することが無いように努めなければならない。

1.8 提出書類

受託者は、業務の着手及び完了に当って契約約款に定めるものの他、調布市環境部の定めた請負者提出書類処理基準に準じて書類を提出すること。

1.9 管理技術者及び技術者

- (1)受託者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置すること。
- (2)管理技術者は、技術士（総合技術管理部門（下水道）または上下水道部門（下水道））、または下水道法に規定された資格を有するものとし、業務全般にわたり技術的管理を行うこと。
- (3)受託者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置すること。

1.10 業務実績情報サービス

受託者は、契約時又は変更時において契約金額が100万円以上の業務については、業務実績情報システム(テクリス)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けた上で、受注時は契約締結後、15日（休日等を除く）以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、15日（休日等を除く）以内に、完了時は業務完了後、15日（休日等を除く）以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録できる技術者

は、業務計画書に示した技術者とする（担当技術者の登録は8名までとする）。

また、受注者は、契約時において、予定価格が1,000万円を超える競争入札により調達される建設コンサルタント業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札である」にチェックをした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けること。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」はテクリス登録時に監督職員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が、15日間（休日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合においても同様に、テクリスから発注者にメール送信し、速やかに発注者の確認をうけた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

1.11 環境物品

本業務の実施に当り、その対象となる工事で使用する資材、建設機械、工法、目的については、東京都が作成した「令和3年度東京都環境物品調達方針（公共工事）」（以下調達方針という）の規定に従い、本業務の趣旨や建設（設計）目的を踏まえ、調達方針に定められた環境物品等の選択に努めること。

1.12 再生資源利用計画書

受託者は、本設計業務委託の実施に当たって建設副産物の発生抑制、再使用・再生利用及び適正処理について十分に検討し、その結果を「リサイクル計画書」（基本（予備）設計段階、詳細（実施）設計段階、解体工事用）のいずれか）に取りまとめ、再生資源利用（促進）計画書を添付して報告書に含めて提出すること。

1.13 測量機器

現地調査で使用する測量機器については、（社）日本測量協会技術センター等が検定して発行する検定証明書及びこれに準ずる社内検定証明書等を作業計画書に添付し提出すること。なお、高さの標示は、原則として（T. P.）を用いること。

1.14 環境配慮事項

本業務の履行に当って、自動車を使用し、又は使用させる場合は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）」に規定する、ディーゼル車規制に適合する自動車とすること。なお適合の確認のため、当該自動車の自動車車検証、粒子状物質減少装着証明書等の提示又は写しの提出を求められた場合には、速やかに対応すること。

1.15 積算基準

本委託に係る工事の設計・積算については、別途指示する東京都多摩地区下水道事業積算施工適正化委員会発行の積算基準に原則準拠するものとし、これに定めの内場合は下水道用設計標準歩掛表（白本）、東京都建設局積算基準等によること。

1.16 成果品の審査及び納品

- （1）受託者は成果品完成後に発注者の審査を受けなければならない。
- （2）成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。
- （3）業務の審査に合格後、成果品を納品し、検査員の検査をもって、業務の完了とする。
- （4）業務完了後において、明らかに受託者の責に伴う業務のかしが発見された場合は、受託

者はただちに当該業務成果の修正を行うこと。

1.17 関係官公庁等との協議

受託者は、関係官公庁等との協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれにあたり、この内容を遅滞なく報告すること。

1.18 業務の進行管理

受託者は、委託期間終盤に協議や検討が集中しないように徹底した進捗管理を行い、委託期間を厳守すること。また令和8年度の工事予算要求を行う必要があることから、工事概算額を令和7年9月30日までに提示すること。また、また本委託業務成果による工事は発注時期平準化の観点から、図面及び数量計算書、各種根拠等について検討・協議・照査を終えた状態で令和7年12月26日までに提示すること。

1.19 証明書等の申請

設計や検討に必要な証明書及び申請書の交付は、受託者の申請によること。

1.20 疑義の解釈

本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合は、受託者及び発注者双方の協議のうえ、これを定めるものとする。

第2章 実施設計（更生工法） 設計数量：184.77m

2.1 資料収集

上位計画図書、下水道台帳、既設管の竣工図書、土質調査、その他必要な資料の収集及び確認を行うこと。TVカメラ調査結果または潜行目視調査結果、劣化度調査図書、本管下水量または水位調査の資料の収集及び確認を行うこと。

2.2 既設管調査

管路内調査として、TVカメラ調査または潜行目視調査、劣化度調査図書に基づき管渠の劣化状況や堆積物（深さ、体積）、支障物件等の有無等を管路施設内から把握を行うこと。

また、測量調査として、測距、地盤高、管底高、管渠断面、人孔の形状、取付管位置、その他構造物(横断管や不明管)の測定及び調査を行うこと。

2.3 現場環境調査

工事時の交通規制形態の範囲、施工重機・車両の配置、架空線状況、周辺家屋の土地利用状況、車両の出入り、保育園等の公共施設の有無、その他支障物の有無等について把握を行うため、道路状況、周辺状況の把握を行うこと。なお本業務には交通管理者、道路管理者、その他工事発注前に協議が必要な機関・競合企業等との協議業務を含むものとする。

また調査・協議結果については速やかに報告すること。

2.4 設計計画

更生工法の比較検討を行い、その結果選定された工法における流下能力の確認（計画流量、現況流量、更生後流量（クッター、マニング）、仮排水・仮設等の設計計画を行うこと。

2.5 各種計算

起終点の設定、管強度、構造計算、流量計算、換気計算、工程計算等を行うこと。

2.6 耐震設計

・調査

耐震設計に必要な資料の収集、特性把握を行うこと。

- ・ 条件設定
地盤条件（基盤面等）、管渠条件の把握を行うこと。
- ・ 耐震計算
液状化の判定、マンホールと管渠の接合部の計算（地震動による屈曲角、拔出し量）を行うこと。
- ・ 照査
耐震設計に対する照査を行うこと。

2.7 設計図作成

位置図、系統図、平面図、縦断面図、構造図等の作成を行うこと。その際劣化状況や流入管渠位置、起終点の設定根拠が分かるよう描くこと。

2.8 数量計算

工法決定後、工事発注に耐えうる数量計算書（積算根拠資料と併せて）を作成すること。

2.9 照査

設計計画の妥当性、各種計算書の適切性、各種設計図の適切性、各種計算書と設計図の整合性を確認すること。

2.10 報告書作成

設計書のまとめ、概要書（設計の目的・概要・位置図、設計項目、設計条件、土質条件、埋設物状況、施工方法、工程表、設計フローチャート等）を作成すること。

第3章 実施設計（人孔蓋） 設計数量：200基

調布市下水道長寿命化計画において健全度Ⅰに判定された人孔蓋の改築（取替え）工事を行うにあたり実施設計を行うものである。ただし、特段の理由により設計（施工不可）と判断されるものについては理由と根拠が認められた場合のみ設計対象外とする。

3.1 調査

現況の交通規制状態、周辺状況を調査し、工事時の交通規制形態の検討に必要な調査を実施すること。また既設蓋の諸元確認、蓋交換時の影響構造物や舗装影響範囲の検討に必要な調査を実施すること。

その際、該当マンホールにスプレー等によるマーキングを行うこと。

3.2 設計計画

当該人孔の占用位置や状態、道路種別・周辺状況などを十分考慮し、想定される施工パターンを作成して設計計画を行うこと。

3.3 施工法の比較検討

最適な人孔蓋交換工法の選定、人孔の高さ調整部の補足材や蓋取替え時に併せて交換を要す人孔部材の数量、舗装影響面積等について取りまとめを行うこと。また付帯的に行う補修箇所（足掛け金物、転落防止梯子、人孔底部や管口部の損傷、排水施設や区画線等）の抽出を行いとりまとめること。また該当地の工事作業効率等を勘案し、工程計算を行うこと。

3.4 図面作成

位置図、平面図（工事当該地の注記記載等）、構造図等の作成を行うこと。

3.5 数量計算

工事発注に耐えうる数量計算書（積算根拠資料）を作成すること。

3.6 照査

設計計画の妥当性、各種計算書・設計図の適切性、各種計算書と設計図の整合性について確認を行うこと。

3.7 報告書作成

まとめ、概要書（設計の目的、概要、位置、設計項目、設計条件、埋設物状況、設計フローチャート）等の作成を行うこと。

第5章 設計協議

中間打合せは、「設計計画」、「各種計算」、「設計図作成時」などを含む5回実施するものとする。なお本業務には更生工事及び人孔蓋交換工事に関わる事前の関係機関協議及び他企業協議を含むものとする。

第6章 提出図書

提出図書は以下とする。疑義がある場合は監督員との協議により決定する。

- (1) 業務報告書：1部
- (2) 実施設計図（位置図、系統図、施設平面図、詳細平面図、縦断面図、横断面図、構造図、仮設図など）：1部
- (3) 構造計算書（水理計算書、耐震設計計算書を含む）：1部
- (4) 数量計算書：1部
- (5) 工事費概算書：1部
- (6) 特記仕様書：1部
- (7) 打合せ議事録：1部
- (8) その他資料（道路占用許可申請書(案)・施工通知等の添付図書、設計に伴って収集・調査した資料及びその他申請等に関する資料）：1部
- (9) 設計電子データ（DVD-R等）：一式
 - ・提出図書の印刷向きは両面印刷A4縦を基本とし、A3版の場合はA4綴じ折りとする。
 - ・成果品の製本は、A4チューブファイル綴じ込みとし、綴じ厚が10cmを超える場合は分冊すること。
 - ・成果品の製本物のタイトル付けについては、監督員と協議し決定すること。
 - ・電子媒体については、作成時の生データ及びPDF形式とする。CADのデータ形式については、原則dwg形式（各環境設定ファイルも併せて納品）とする。
 - ・成果品の電子納品に当たってはウイルスチェックを行うこと。また納品する媒体のラベルに、ウイルスチェックに関する情報として、①使用したウイルス対策ソフト名、②ウイルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名、③チェック年月日を記載すること。

(K507201001-0)

支出科目	年度	会計	款	
	令和 7 年度	R 6 下水道事業会計	004資本の支出	
項	目	節	目	
01建設改良費	01管渠建設改良費	19委託料		
委託金額	区 分		金 額 (円)	
	委 託 費		¥	
	内	業務価格計		¥
訳				

(K507201001-0)

第 1 号 種 別 内 訳 書

種 別	内 容 (数量)	金 額 円	摘 要
設計業務委託 建設コンサルタント	1 式		
管更生工法(内径800mm以上) 管路施設実施設計, 管路延長184.77(m)	1 業務		
管路施設耐震設計(レベル1・2)(管更生工法) 管路施設実施設計 管路延長184.77(m), ポリウレタン樹脂(短辺内径800mm以上)	1 業務		
中性化試験工	33 測点		第1号業務別内訳書
鉄筋腐食試験工	33 測点		第2号業務別内訳書
圧縮強度試験工	33 測点		第3号業務別内訳書
報告書作成(詳細設計) 管路施設実施設計	1 業務		
設計協議(詳細設計) 管路施設実施設計	1 業務		
交通誘導警備員B	24 人		
直接費	1 式		
直接人件費	1 式		
賃金	1 式		
直接経費	1 式		
電子成果品作成費	1 式		
その他原価	1 式		
業務原価	1 式		
一般管理費等	1 式		
業務価格			

第1号
A00000000003 A02

業 務 別 内 訳 書

種 別	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価 円	金 額 円	摘 要
工 種 内 訳						
中性化試験工 10測点						
測量技師		1	人			
測量技師補		1	人			
測量助手		1	人			
測量補助員		3	人			
軽油	JIS 2号	14	L			
トラック損料	普通 2t	6	時間			
ガソリン	レギュラー (スタンド)	11	L			
ライトバン(ガソリンエンジン) 損料	二輪駆動 排気量1.5L	6	時間			
諸雑費		1	%			
合 計		10	測点			
単位当り		1	測点			

第2号
A00000000004 A02

業 務 別 内 訳 書

種 別 工 種 内 訳	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価 円	金 額 円	摘 要
鉄筋腐食試験工 7測点						
測量技師		1	人			
測量技師補		1	人			
測量助手		1	人			
測量補助員		3	人			
軽油	JIS 2号	14	L			
トラック損料	普通 2t	6	時間			
ガソリン	レギュラー (スタンド)	11	L			
ライトバン(ガソリンエンジン) 損料	二輪駆動 排気量1.5L	6	時間			
諸雑費		1	%			
合 計		7	測点			
単位当り		1	測点			

第3号
A00000000005 A02

業 務 別 内 訳 書

種 別 工 種 内 訳	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価 円	金 額 円	摘 要
圧縮強度試験工 10測点						
測量技師		1	人			
測量技師補		1	人			
測量助手		1	人			
測量補助員		3	人			
軽油	JIS 2号	14	L			
トラック損料	普通 2t	6	時間			
ガソリン	レギュラー (スタンド)	11	L			
ライトバン(ガソリンエンジン) 損料	二輪駆動 排気量1.5L	6	時間			
諸雑費		1	%			
合 計		10	測点			
単位当り		1	測点			

第4号
A00000000001 A01

業 務 別 内 訳 書

種 別	形 状	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
工 種	寸 法			円	円	
内 訳						
マンホール蓋替え設計 1式	200箇所 箇所数補正率=2.235					
調査		111.75	箇所分			
設計計画		111.75	箇所分			
図面作成		111.75	箇所分			
数量計算		111.75	箇所分			
照査		111.75	箇所分			
施工法の比較検討		111.75	箇所分			
報告書作成		111.75	箇所分			
合 計		1	式			

更生設計箇所 一覧表

第 1 期—5

No.	施設番号	処理分区	管種	形状	内空上幅 呼び径 (mm)	高さ (mm)	換算 断面 (mm)	区間 延長 (m)	施工 年度	経過 年数	緊急度	優先 順位	対策工法
													「布設替え」 「更生」
1	K169_176	深大第3	RC	矩形渠	1800	1800	2000	47.00	1975	45	I	12	更生
2	K169_175	深大第3	RC	矩形渠	1800	1800	2000	60.85	1975	45	I	13	更生
3	K199_24	深大第3	RC	矩形渠	1850	1850	2100	9.50	1979	41	I	18	更生
4	K209_4	深大第3	RC	矩形渠	1800	1800	2000	40.37	1977	43	I	17	更生
5	K230_6	深大第3	RC	矩形渠	2250	1500	2100	6.05	1978	42	I	16	更生
6	K240_97	深大第3	RC	矩形渠	1700	2700	2400	21.00	1978	42	I	15	更生

合計更生延長

184.77 m

NO	新人孔番号	道路区分	蓋 1~3	施設番号	区間距離	本管径	管きよ 工事年度	経過年数	対策年度
1	J200_56	一般市道	3	K200_60	14.17	1000	1980	37	R8
2	J200_60	一般市道	3	K200_64	19.89	800	1980	37	R8
3	J200_61	一般市道	3	K200_65	34.16	800	1980	37	R8
4	J352_1	一般市道	2	K352_13	7.48	800	1981	36	R8
5	J352_11	一般市道	3	K352_10	59.15	800	1981	36	R8
6	J352_12	一般市道	2	K352_11	13.45	800	1981	36	R8
7	J352_13	一般市道	2	K352_12	15.45	800	1981	36	R8
8	J362_1	一般市道	3	K362_1	13.15	900	1981	36	R8
9	J362_2	一般市道	3	K362_2	9.28	900	1981	36	R8
10	J362_23	一般市道	3	K362_25	3.75	800	1981	36	R8
11	J362_3	一般市道	2	K362_3	15.65	800	1981	36	R8
12	J362_4	一般市道	2	K362_4	30.76	800	1981	36	R8
13	J362_5	一般市道	2	K362_5	16.4	800	1981	36	R8
14	J362_6	一般市道	2	K362_6	22.85	800	1981	36	R8
15	J362_7	一般市道	2	K362_9	6.1	800	1981	36	R8
16	J363_2	一般市道	3	K363_2	18.96	900	1980	37	R8
17	J363_3	一般市道	3	K363_3	15.5	900	1980	37	R8
18	J363_4	一般市道	2	K363_4	38.39	900	1980	37	R8
19	J363_45	一般市道	3	K363_47	40.4	800	1979	38	R8
20	J363_46	一般市道	3	K363_48	47.35	800	1979	38	R8
21	J363_5	一般市道	2	K363_5	9.83	800	1980	37	R8
22	J363_6	一般市道	3	K363_6	11.81	800	1980	37	R8
23	J363_8	一般市道	3	K363_9	24.57	800	1980	37	R8
24	J363_9	一般市道	2	K363_10	31.49	800	1980	37	R8
25	J373_12	一般市道	3	K373_14	21.15	800	1980	37	R8
26	J373_18	一般市道	3	K373_20	65.35	1200	1979	38	R8
27	J373_19	一般市道	3	K373_21	63.32	1200	1979	38	R8
28	J373_2	一般市道	2	K373_2	9.43	1350	1980	37	R8
29	J373_20	一般市道	2	K373_22	26.67	1200	1979	38	R8
30	J373_21	一般市道	3	K373_23	19.5	1000	1979	38	R8
31	J373_22	一般市道	3	K373_24	15.45	1000	1979	38	R8
32	J373_23	一般市道	3	K373_25	3.75	1000	1979	38	R8
33	J373_24	一般市道	3	K373_26	10.74	800	1979	38	R8
34	J373_25	一般市道	3	K373_27	10.25	800	1979	38	R8
35	J373_26	一般市道	3	K373_28	12.84	800	1979	38	R8
36	J373_27	一般市道	3	K373_29	14.25	800	1979	38	R8
37	J373_3	一般市道	2	K373_3	31.79	1200	1980	37	R8
38	J373_4	一般市道	3	K373_4	31.33	1200	1980	37	R8
39	J373_5	一般市道	2	K373_6	11	1200	1980	37	R8
40	J373_6	一般市道	3	K373_7	68.7	1100	1980	37	R8
41	J373_7	一般市道	3	K373_8	15.35	1100	1980	37	R8
42	J373_8	一般市道	3	K373_10	8.7	900	1980	37	R8
43	J373_9	一般市道	3	K373_11	26.61	900	1980	37	R8
44	J374_17	一般市道	3	K374_18	26.35	1500	1979	38	R8

45	J374_18	一般市道	3	K374_19	15.93	1500	1979	38	R8
46	J374_19	一般市道	3	K374_20	18.9	1500	1979	38	R8
47	J374_2	一般市道	3	K374_2	28.5	1500	1979	38	R8
48	J374_20	一般市道	3	K374_21	32.6	1500	1979	38	R8
49	J374_21	一般市道	3	K374_22	66.43	1200	1979	38	R8
50	J374_22	一般市道	2	K374_25	22.7	1000	1979	38	R8
51	J374_23	一般市道	2	K374_26	20.17	900	1979	38	R8
52	J374_3	一般市道	3	K374_3	25.28	1500	1979	38	R8
53	J381_1	一般市道	3	K381_3	25.15	1000	1979	38	R8
54	J381_2	一般市道	2	K381_4	21.73	1000	1979	38	R8
55	J381_4	一般市道	2	K381_6	13	1000	1979	38	R8
56	J381_5	一般市道	不明	K381_7	15.9	1000	1979	41	R8
57	J381_6	一般市道	2	K381_8	20.1	1000	1979	38	R8
58	J382_1	一般市道	3	K382_1	62.27	1350	1973	44	R8
59	J382_4	一般市道	3	K382_4	94.5	1350	1973	44	R8
60	J382_5	一般市道	3	K382_6	47.05	1350	1973	44	R8
61	J382_6	一般市道	3	K382_7	36.8	1200	1973	44	R8
62	J382_7	一般市道	3	K382_8	62.2	1200	1973	44	R8
63	J383_1	一般国道	2	K383_1	317.01	1200	1981	36	R8
64	J383_2	一般国道	2	K383_2	142.39	1200	1981	36	R8
65	J383_4	一般国道	3	K383_4	76.5	1200	1981	36	R8
66	J383_67	一般市道	3	K383_70	81.73	900	1981	36	R8
67	J391_2	一般市道	3	K391_4	43.6	1500	1972	45	R8
68	J391_3	一般国道	不明	K391_5	24.5	1350	1972	48	R8
69	J391_49	一般市道	3	K391_55		1100	1979	38	R8
70	J391_50	一般市道	3	K391_56	50.9	1100	1979	38	R8
71	J391_51	一般市道	3	K391_57	37.25	1350	1979	38	R8
72	J391_52	一般市道	3	K391_58	61.95	1350	1979	38	R8
73	J391_53	一般市道	3	K391_59	52.55	1350	1979	38	R8
74	J391_54	一般市道	3	K391_60	33.1	1350	1979	38	R8
75	J391_55	一般市道	3	K391_61	35.75	1350	1979	38	R8
76	J391_56	一般市道	3	K391_62	20	1000	1979	38	R8
77	J391_57	一般市道	3	K391_63	15.8	1000	1979	38	R8
78	J392_1	一般市道	2	K392_92	5.28	1650	1976	41	R8
79	J392_11	一般市道	2	K392_11	35	800	1982	35	R8
80	J392_12	一般市道	3	K392_12	43.42	1650	1975	42	R8
81	J392_13	一般市道	3	K392_16	23.51	1650	1975	42	R8
82	J392_14	一般都道	2	K392_18	71.55	1500	1975	42	R8
83	J392_45	一般市道	2	K392_57	21.6	800	1980	37	R8
84	J392_5	一般市道	3	K392_5	58.8	1100	1979	38	R8
85	J392_55	一般市道	2	K392_61	38.12	800	1982	35	R8
86	J392_6	一般市道	3	K392_6	46.4	1100	1979	38	R8
87	J392_7	一般市道	3	K392_7	30.78	1100	1979	38	R8
88	J392_73	一般国道	3	K392_79	23.42	800	1982	35	R8
89	J392_86	一般市道	2	K392_94	2.35	1650	1976	41	R8
90	J392_87	一般市道	2	K392_97	6.58	1650	1975	42	R8

91	J393_2	一般都道	3	K393_4	19.06	1350	1974	43	R8
92	J393_3	一般都道	3	K393_5	27.6	900	1977	40	R8
93	J393_4	一般都道	3	K393_6	105.4	900	1977	40	R8
94	J393_5	一般都道	3	K393_7	51.6	800	1977	40	R8
95	J393_6	一般都道	3	K393_8	42.6	800	1977	40	R8
96	J393_7	一般都道	3	K393_9	56.8	800	1977	40	R8
97	J393_79	一般市道	3	K393_82	74.9	900	1975	42	R8
98	J393_8	一般都道	3	K393_10	44.5	800	1977	40	R8
99	J394_1	一般市道	2	K394_1	62.08	1200	1979	38	R8
100	J394_2	一般市道	2	K394_2	18.25	1100	1979	38	R8
101	J394_3	一般市道	3	K394_5	4.9	1100	1979	38	R8
102	J394_4	一般市道	3	K394_6	26.65	1100	1979	38	R8
103	J394_5	一般市道	3	K394_7	26.85	1100	1979	38	R8
104	J394_62	一般市道	3	K394_65	16.95	800	1979	38	R8
105	J394_63	一般市道	3	K394_67	27.23	800	1979	38	R8
106	J394_64	一般市道	3	K394_68	13.62	800	1979	38	R8
107	J394_65	一般市道	3	K394_69	12.9	800	1979	38	R8
108	J394_7	一般市道	3	K394_10	49.52	900	1979	38	R8
109	J394_8	一般市道	3	K394_11	34.5	800	1979	38	R8
110	J394_9	一般市道	3	K394_12	36.8	800	1979	38	R8
111	J401_1	主要市道	3	K401_1	29.25	1500	1977	40	R8
112	J401_124	一般市道	3	K401_138	22.47	1350	1977	40	R8
113	J401_2	主要市道	3	K401_2	33.27	1500	1977	40	R8
114	J401_3	一般市道	3	K401_3	22.57	1500	1977	40	R8
115	J401_4	一般市道	2	K401_5	65.3	1500	1977	40	R8
116	J401_48	一般市道	3	K401_54	19.62	800	1979	38	R8
117	J401_6	一般市道	3	K401_8	16.75	1350	1977	40	R8
118	J401_7	一般市道	3	K401_9	35.44	1350	1977	40	R8
119	J402_17	一般市道	3	K402_20	115.4	1650	1972	45	R8
120	J402_18	一般市道	3	K402_21	54.5	1650	1972	45	R8
121	J402_19	一般市道	3	K402_22	30.1	1650	1972	45	R8
122	J402_30	一般市道	2	K402_35	38.95	1800	1973	44	R8
123	J402_31	一般市道	3	K402_37	36.98	1800	1973	44	R8
124	J402_37	一般市道	3	K402_46	28.92	1200	1979	38	R8
125	J402_38	一般市道	3	K402_47	25.7	1200	1979	38	R8
126	J402_39	一般市道	3	K402_48	17.35	1200	1979	38	R8
127	J402_42	一般市道	3	K402_51	61.05	1100	1979	38	R8
128	J402_43	一般市道	3	K402_53	25.72	1100	1979	38	R8
129	J402_44	一般市道	3	K402_54	38.5	1100	1979	38	R8
130	J402_45	一般市道	3	K402_56	47.24	1100	1979	38	R8
131	J402_46	一般市道	3	K402_57	41.73	1100	1979	38	R8
132	J402_67	一般市道	2	K402_78	18	1000	1977	40	R8
133	J402_68	一般市道	3	K402_79	10.85	1000	1977	40	R8
134	J402_69	一般市道	3	K402_80	34.5	1000	1977	40	R8
135	J402_70	一般市道	3	K402_81	21	1000	1977	40	R8
136	J402_71	一般市道	2	K402_82	32.1	900	1979	38	R8

137	J403_115	一般市道	3	K403_127	43.5	800	1978	39	R8
138	J403_116	一般市道	2	K403_128	47.25	800	1978	39	R8
139	J403_70	一般市道	3	K403_76	37.7	1100	1977	40	R8
140	J403_71	一般市道	2	K403_77	31	800	1978	39	R8
141	J403_82	一般市道	3	K403_89	35.58	800	1977	40	R8
142	J403_83	一般市道	3	K403_91	26.85	800	1977	40	R8
143	J403_84	一般市道	3	K403_92	11.5	800	1977	40	R8
144	J403_85	一般市道	3	K403_94	83.53	800	1978	39	R8
145	J404_6	一般都道	3	K404_7	65	1200	1979	38	R8
146	J411_74	一般市道	3	K411_77	33	1500	1977	40	R8
147	J411_75	一般市道	3	K411_78	26.7	1500	1977	40	R8
148	J412_1	一般市道	3	K412_1	52.51	2600	1973	44	R8
149	J412_106	一般市道	3	K412_114	65.67	900	1980	37	R8
150	J412_107	一般市道	2	K412_116	13.93	900	1980	37	R8
151	J412_2	一般市道	3	K412_2	3	800	1978	39	R8
152	J412_22	一般市道	3	K412_24	45.7	1800	1973	44	R8
153	J412_24	一般市道	3	K412_25	19	1800	1973	44	R8
154	J412_25	一般市道	3	K412_26	43.4	1800	1973	44	R8
155	J412_26	一般市道	2	K412_27	49.4	1800	1973	44	R8
156	J412_27	一般市道	2	K412_28	36	1800	1973	44	R8
157	J412_28	一般市道	2	K412_29	51.2	1800	1973	44	R8
158	J412_29	一般市道	2	K412_30	32	1800	1983	34	R8
159	J412_3	一般市道	3	K412_3	77.55	800	1978	39	R8
160	J412_30	一般市道	3	K412_91	41.53	1800	1980	37	R8
161	J412_31	一般市道	3	K412_34	51.05	1800	1973	44	R8
162	J412_4	一般市道	3	K412_4	49.9	800	1978	39	R8
163	J412_5	一般市道	3	K412_5	28.5	800	1978	39	R8
164	J412_52	一般市道	2	K412_56	20.22	1500	1977	40	R8
165	J412_53	一般市道	3	K412_57	20.6	1500	1977	40	R8
166	J412_54	一般市道	2	K412_58	14.7	1500	1977	40	R8
167	J412_56	一般市道	3	K412_61	14.63	1500	1977	40	R8
168	J412_57	一般市道	3	K412_63	21.82	1500	1977	40	R8
169	J412_79	一般市道	2	K412_86	9.8	1800	1980	37	R8
170	J412_80	一般市道	3	K412_87	21.1	1800	1980	37	R8
171	J412_81	一般市道	3	K412_88	8.7	1800	1980	37	R8
172	J412_82	一般市道	2	K412_89	26.85	1800	1980	37	R8
173	J412_83	一般市道	3	K412_90	82.7	1800	1980	37	R8
174	J412_91	一般市道	3	K412_99	5.36	1800	1980	37	R8
175	J413_1	一般市道	2	K413_1	57.4	2000	1976	41	R8
176	J413_106	一般市道	3	K413_118	21.28	1800	1976	41	R8
177	J413_113	一般市道	3	K413_125	14	800	1977	40	R8
178	J413_2	一般市道	2	K413_2	70.1	2000	1976	41	R8
179	J413_71	一般市道	3	K413_78	1.82	1100	1977	40	R8
180	J413_72	一般市道	3	K413_79	19	1100	1977	40	R8
181	J413_73	一般市道	3	K413_80	26	1100	1977	40	R8
182	J413_74	一般市道	3	K413_81	17.5	1100	1977	40	R8

183	J413_75	一般市道	3	K413_82	49	1100	1977	40	R8
184	J413_76	一般市道	3	K413_84	9.15	1100	1977	40	R8
185	J413_77	一般市道	3	K413_85	27.5	1100	1977	40	R8
186	J413_8	一般市道	3	K413_10	36.12	1800	1976	41	R8
187	J422_27	一般市道	3	K422_33	27.85	1000	1976	41	R8
188	J422_28	一般市道	2	K422_34	13.09	1000	1976	41	R8
189	J422_29	一般市道	2	K422_35	28.87	900	1976	41	R8
190	J422_30	一般市道	2	K422_36	17.62	900	1976	41	R8
191	J422_31	一般市道	2	K422_37	21.89	900	1976	41	R8
192	J422_32	一般市道	2	K422_38	15	900	1976	41	R8
193	J422_33	一般市道	2	K422_39	4.15	900	1976	41	R8
194	J422_34	一般市道	2	K422_40	41.26	900	1976	41	R8
195	J422_53	一般市道	3	K422_61	22.6	800	1980	37	R8
196	J422_54	一般市道	3	K422_62	19.8	800	1980	37	R8
197	J422_6	一般市道	3	K422_10	2.26	2600	1973	44	R8
198	J422_7	一般市道	3	K422_12	5.35	2600	1973	44	R8
199	#N/A	一般市道	3	K394_66	13.85	800	1980	37	R8
200	#N/A	国道	不明	K401_141	28.557	1100	1982	38	R8